

同志社大学

2009年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010年 3月 2日提出

所 属	職 名	氏 名
文学部	教授	白井 雅美
研 究 題 目	女性芸術家とトランスナショナリズム	
研 究 成 果 の 概 要	<p>19世紀から21世紀にかけて現代社会のグローバル化の基礎が構築され、政治的・経済的・文化的グローバルズムが加速する中で、女性芸術家が挑戦してきた自己の探求を、イギリス大英帝国、大日本帝国、そしてアメリカ合衆国が構築した植民地支配が生み出した周辺環境と文化への反逆と捉え、その声を20世紀と21世紀の英米文学作品と日本文学作品の中から読み取り、リサーチを行って、最終的に研究発表を行った。</p> <p>その一つの流れとして、2008年12月同志社大学において開催された国際シンポジウム『源氏・ゲンジ・Genji—源氏物語の翻訳と変奏—』（同志社大学大学院文学研究科主催）において「沈黙の文学：紫式部とヴァージニア・ウルフ」をパネリストとして発表した。その継続する研究として、沈黙が内包する病理に焦点を当て、2009年6月に大韓民国ソウル市梨花女子大学で開催された The Fifth Conference of Korean Association of Feminist Studies in English Literature (The Korean Association of Feminist Studies in English Literature)において “Illness as Metaphor of Displacement in <i>The Tale of Genji</i> by Murasaki Shikibu and <i>The Waves</i> by Virginia Woolf” を口頭発表し、韓国における女性作家研究をリードする研究者とアメリカ、台湾、カナダなどの女性に関する様々な分野の研究者たちとの意見交換を行った。</p> <p>また、抑圧されてきたハワイにおける女性作家・詩人が仏教との出会いにより現代における人間性の探求を行ってきたことを調査・分析し、論文にまとめ、その論文 “Pursuing the Buddhist Path to Japan as the Pure Land in Hawaii’s Local Poetry and Stories by Cathy Song and Juliet S. Kono” が2010年6月にハンガリーの University of Pécs で開催予定の the 7th Biennial MESEA Conference: The Society for Multi-Ethnic Studies: Europe and the Americas において口頭発表が決まっている。</p>	